



第10號

發行所 郡民館
愛知縣額田郡
幸田村公所
印 刷 所 活版所
岡崎市徳田町五一



輝かしい年の始めに

—ごあいさつ—

村長 足立草逸郎

一萬三千の村民の皆様!!
輝かしい昭和二十六年の新年を迎えましておめでとうございます。

今年が卯年で、去年の寅年に比べて、何かピツタリとくるものがあると思つて、何かビツタリとくるものがあると思つて、それは御勅題「朝空」のようにすつきりした温和な兎が明るい平和を象徴しているように思われるからでございます。

ちようど小兎日本が占領下という小箱から、急に待望久しい講話條約により、さんさんと明るく照る白日の下で自由に新鮮な緑草生い茂る國際場裡に進出できるような氣がいたします。そうなたら、廣い大地を思う存分はね廻り、無限の歡喜に氣をよくし心ゆくばかり大きく深呼吸をすることでありましょう。

我々は兎と亀のカケツコのように安閑としては居られない人類の生存競争、その最大危機に立つ世界情勢にも平和の日が訪れることを心の底から願わずには居られません。

昨年にもまして多事多難な事につき當るでありまして、よくよく耐え忍んで打ち克つ決心の固める處に正月の意義があると思ひます。

「天は自ら助くるものを助く」新應合竣功を目前に、新日本第六回の初春に當り、和衷協力して明るい楽しい文化の香り豊かな住みよい幸田村の建設に一兎を求めて、めでたくゴールインするようお互いに手をとりあつて、いざ進みましょう。ここに謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。



「成人式」 成年適令者申 告のお願い

戦後六度の新春を迎え、内には世情漸く安定の兆を見せ、外には國際社會への復歸待望の講和條約の締結も近く日本の前途は苦難の中にも仄かな光明の認められるよい年となつた。しかし次の世代を背負うべき青年の現實を眺める時、寔に憂慮に堪えない有様である。

法律第七十八號制定によれば成人の日の主旨は「大人になつたことを自覚し自ら生き抜こうとする青年を祝ひ勵ます」とあつて、青年が公民としての権利を得た機会に彼等の公民的權利を尊重し祝福すると共に彼等自らが公民としての責任と義務とを自覺し、立派に文化國家の公民權行使の名譽を果すべく國民的感激を以て祝意を表し、且つ記念するたぬめ之を盛大、嚴肅、明朗に行いたいとの趣旨で来る十五日左記により成人式並に成年祭を実施しますから恐縮ながら成人該當者(昭和六年生)の方は主事を通じて申告票をお届け下さるようお願いいたします。

一、健康診断 十二日午前中



成人健康調 査について

現在我等國民の健康は保障されてゐるにも拘らず、その体力と生活環境は憲法の理想と遙かに遠い現狀にある事は容易に認められる處であります。新春を迎えると共に保健所が縣の方針に基き民衆の健康を各自の自由に放任することなく、集團的に健康調査を行い、その現狀を明らかにしその結果に基き對策を樹立して民衆の健康と体力の向上を図るものがあります。然しながら以上の理想は一朝にして現實するものではないので、昭和二十五年度に於ては近く民衆の中軸となるべき成人(昭和六年内に出生者)の男女を対象として郡一齊に調査を行うことになり、當村に於ては成人健康調査を一月十二日午前中に役場に於て実施致しますから趣旨を御了知の上、成人健康調査を受けられたい。

- 二、成人式 十五日午前十時から
- 1 國歌合唱 2 式辭 3 講評 4 成年章
附與り宣誓(適令者代表) 6 激勵の
辭(參列者代表) 7 撮影 8 祝宴
- 三、講 演 樋口芝 嚴師
- 四、成年祭 郷土藝術、卓球

確定選挙人名簿登載人員調

投票區名	區域	男	女	計	投票區名	區域	男	女	計
第一投票區	長嶺	87	95	182	第四投票區	唐谷	177	215	392
	久保田	97	99	196		幸田	225	267	492
	坂持	338	367	705		計	577	682	1259
	計	522	561	1083	第五投票區	里	223	229	452
第二投票區	高力	136	154	290		海谷	129	159	288
	大草	366	412	778		市場	254	276	530
	計	502	566	1068	計	606	664	1270	
第三投票區	北郷田	28	26	54	第六投票區	横落	84	84	168
	鷺田	209	222	431		新光 - ヨ - レン	49	354	403
	新田	51	57	108		岩堀	393	416	809
	計	288	305	593		計	526	854	1380
第四投票區	萩	175	200	375	合計	3021	3632	6653	



選挙人名簿確定

去る九月十五日現在の有権者につき二十日を以て確定しました。き本人の申告に基づき調製し十二月



檢察審査員候補者決定

二十六年度の檢察審査員候補者は去る十二月十八日當委員会においてくじで選んだ結果、次の通り決定した。

- 第一群 山本節治 由良信雄
- 第二群 天野 榮 星野健逸
- 第三群 安藤伊六 平田若松
- 第四群 谷川重市 杉浦 正



賀正

昭和二十六年の新春を迎えて心から御祝申上げると共に皆様の御健勝を御祈り申上げます。

幸田村養蚕農協同組合長 黒江貞治

破滅の一步手前を思わせた養蠶もあの混乱の中から徐ろに回復に向い統制品は次から次へと撤廢され精神的にもゆとりが出来て來ました。一九五一年を迎えるに當り、いささか新生再建の曙光を見出す事の出來た事は御同慶に堪えません。然し日本の復興はまだまだ遠く、待望の講話會議の途は國際形勢にからむこと險しく八千萬同胞が自給自足の生活を営むには尙茨の途があることも覚悟しなければならぬ。昭和二十四年四月統制撤廢後の混亂は一貫した自主的養蠶者の英断と産繭増産によつて一應事無く遷たの

は誠に喜ばしく、益々親和の力が大切であると同時に村政力の結集も見のがす事は出来ませぬ。よりよく團結を強固にして來る地方選挙に望む事が感ぜられる。殊に過半締結された日英通商協定によつて新に生糸需要を増し、歐洲方面、南洋方面の景氣恢復を反映して内外需要は一層増大して何等の悲觀材料のない今日こそ、大いに桑を新植して繭の増産を計るべき秋である。又食糧事情の好轉(今年三月食官法廢止)云々、農産物の下落等によつて現有畑作の再考慮を図るべき昭和二十六年こそ、農業經營に養蠶が眞剣に取上げられる事を信じて疑わぬ。兎歳のよき新春を興え皆様の御健勝を御祈りしつづ年頭の御挨拶と致します。

昭和25年度農産物品評會成績 25.12.20

種別 部落名	出品点数						入賞点数					
	米麦	雑穀	蔬菜	卵	副業	合計	優等	一等	二等	三等	四等	計
長嶺	7	6	13	1	2	29	1	4	1	3	2	11
久保田	6	4	9	0	42	61	0	0	3	7	4	14
坂崎	15	16	41	3	10	85	1	2	5	10	7	25
大草	12	28	100	6	40	187	1	1	9	13	10	34
高力	8	26	42	1	8	85	0	1	2	7	9	19
鷺田	2	27	63	1	96	189	0	2	1	12	9	24
東部	0	0	25	0	4	29	0	1	2	0	2	5
新田	0	2	21	0	12	35	0	2	0	2	3	7
岩堀	3	11	55	3	13	85	1	0	3	5	6	15
横落	0	0	9	0	0	9	0	0	0	0	1	1
萩	16	18	49	2	12	97	0	2	2	11	12	27
芦谷	4	15	27	0	4	50	1	2	4	1	5	13
幸田	0	7	18	0	12	37	0	1	0	0	3	4
里	14	16	40	0	6	66	0	1	3	7	5	16
海谷	3	2	56	0	0	61	0	3	5	8	8	24
市場	5	11	32	0	3	51	0	0	2	1	4	7
計	95	179	600	17	264	1156	5	22	42	87	90	246

農産物品評會開催に當りましては、村民各位特に實行班長の絶大な御協力と中學校職員生徒諸氏の理解ある御盡力により予期以上の成績をおげ無事終了しましたことを衷心より厚く御禮申し上げます。

尙二十六年度に於ても同様稲作競技會と併催する予定でありますから今度の体験を基盤に村民各位一段の御努力と御後援を重ねて御願ひ申し



農産物品評會について

上げます。
 ▼稲作改良競技會
 優等賞 東海千本 大草 天野榮
 反收三石七斗八升六合
 ▼農産物品評會 優等賞
 白米 長嶺 小田 彌一
 白菜 芦谷 太田 森一
 大豆 岩堀 池田 之進
 大根 坂崎 齋藤 太夫

研究農場は農家の皆さん方の農業に關する色々な疑問や技術上の事について皆さん達と一緒に研究をしたり御相談相手になつたりする爲に村で經營をしてゐる一種のサービス機關であります。

したがつて農家の皆さん達がこの研究農場を最高度利用されることこそ農場設置の所以であると思ひます。

そこで本年の秋冬作は次の如く計画致しましたので大方諸賢の御参考に供し御批判を仰ぎたいと思ひます。

一、麥作栽培 (1) 一般採種 (明年分譲のもの) (2) 縣奨励品種並有望品種 (3) 施肥一試験 (4) 播巾率一試験



研究農場の利用について

額南研究農場

土地利用率の試験)
 二、茶種栽培 (分譲用) 農林六號、農林九號、農林三二號 (新品種) 近畿一四號、近畿二五號、伊勢黒三、薄荷試作 (一斤二百圓程度)

これは本年始めて實施するものであります。が換金作物として將來有望であり本村の土地に合うか合わぬか疑問であります。栽培が簡単であり割合に有利であれば幸田村の特産として諸賢統制撤廢後の畑作物として大いに奨励したい。

四、花卉栽培 これ又換金作物としてどこまで行けるか現在農場に栽培は葉牡丹と百合の栽培、菊の栽培を行い相當有利に販賣致しております。

昭和25年産米供出成績表 25.12.20 (單位俵)

部落名	變更供出量	出荷数量	進出率%
長嶺	988.50	587.00	59.4
久保田	954.00	156.00	16.3
坂崎	3518.00	2335.00	66.4
大草	2904.25	1126.00	38.7
高力	1520.00	1108.00	72.9
鷺田	1510.50	962.00	63.7
東部	947.75	819.00	86.4
新田	1150.50	930.00	80.8
岩堀	2350.00	1415.00	60.2
横落	152.25	22.00	14.5
萩	1252.50	461.00	36.8
芦谷	529.00	150.00	28.3
幸田	75.75	22.00	29.0
市場	701.25	166.00	23.7
里	639.00	204.00	31.8
海谷	367.00	177.00	48.2
計	19560.25	10640.00	54.0



四季の民俗 (その一)

門松 砂樓生

甲 あけましておめでと。乙 おめでと。甲 今年は何知り博士の君から、一年間の民俗をききたいものだね。乙 別に物知りではないがね。ただ深い意味も考えずに古いもの即ち迷信という考え方が残念だから折にふれてお話ししよう。

甲 そういえば門松も、一時は虚禮廢止の槍玉にあげられたが？乙 それだよ。今でこそ裝飾化したけれど元は年神様をお迎えして一年の加護を祈る時、神様は先ず門口の依代よしろの木に降りられてから年棚にお迎えしたものだ。その木が門松なのだ。

甲 成程、随分大切なものだね。ではそれをたてるのもいい加減にしてはいけないわけだね。乙 そう。だから松迎えといつて正月準備の大切な行事になつていて、三ヶ日は門松に神酒や食物を供える所もある程だ。

甲 神様の依代なら神ではないの。乙 そうだよ。伊勢や駿河の一部では櫛かみを使うし、檜ひのきや椎かきから櫛かみを使う所さえあるそう。

甲 つまり門松は年神様を迎える大切なものだが、何時か裝飾化したにしろ、正月らしい床しさを

るさを迎えるにはやはりなくてはならぬものだし、せめて小枝なりとも祝いたいものだね。乙 そうですね。來年は大いにやりましょう。

卯の字の看板

久保田 小野宗重

若黨一人を供につれ江戸は愛宕山の山上、茶店に腰を掛け山上から見下す大江戸の景観を賞していた一人の老武士、ふと其の軒先につるしてある、卯の一字看板を見て、何の看板かと尋ねた。

亭主は其の頃珍らしい外國からの渡來品選眼鏡、即ち今日の望遠鏡を客に貸し與え、市中見物の便に供している選眼鏡の看板だと答えた。

卯と只一字書いたこの看板が何故遠眼鏡の看板か亭主も理解していなかった。筆者が尋ねると、狂歌で有名な蜀山人、本名片岡直次郎先生だとのこと、彼の老武士しげらしく思案の体であつたが、やがて指を折りかぞえ、てうと小膝を打ち、流石蜀山人面白く考えた。

おい御亭主解つたぞ。

卯からかぞえて十目が子じや。

成人の日

一月十五日 戸毎に必ず國旗をたてましょう。

おとなになつたことを自覺し自ら生き抜こうとする青年を祝いはげます

昭和二十六年	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一月生	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
二月生	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一
三月生	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一	二
四月生	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一	二	三
五月生	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一	二	三	四
六月生	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一	二	三	四	五
七月生	七	八	九	一〇	一一	一二	一	二	三	四	五	六
八月生	八	九	一〇	一一	一二	一	二	三	四	五	六	七
九月生	九	一〇	一一	一二	一	二	三	四	五	六	七	八
十月生	一〇	一一	一二	一	二	三	四	五	六	七	八	九
十一月生	一一	一二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇
十二月生	一二	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一

昭和二十六年満年令表 (二)

月です。昭和二十六年中の各月と生れ年月表の見方



郷土地名考 小野宗重

植物に關係のある地名は各地に其の例がたくさんあります。本村の大宇名にも大草、荻、芦谷、菱池があり、小宇名や俗にその土地で呼んでいる地名には草木に關するものが相當數ある事と思ひます。まづ大草の地名であります。これは青草から轉訛したものと思ひます。アラがヲと訛ることは其の例少くありません。源頼朝で有名な美濃の青墓はヲヲハカと發音してゐます。又青々と草の生えた圓塚と青塚と呼んでゐたが、後世ヲツカと訛つた等の例もよく聞くとこです。又縣下に大草の地名は知多郡にも濃美郡にもありますが、何れも地勢から見て上代に於て高台の草原地を想像されます。

次に荻、芦谷の地名ですが、荻も芦も共に濕地に繁茂する野草であり上古私共の遠い祖先が開拓の地を求めた頃その選定上の第一條件となつたのは、芦蒲、菖蒲等の植物でありました。水稻栽培を主とする祖先は芦の様な植物の育つ地は水利に恵まれた水稻栽培適地として擇んだもの

です。上古の國名「豊原瑞穂國」芦原に豊むということは將來耕地として開拓適地が豊富にあるということとで、瑞穂は即ち水稻であり建國の頃にはわが國も到る所この様な草原が廣々としていた事と思ひます。

又芦、荻等の繁殖地でも、平野より山麓の谷川附近が先づ開かれまし

た。これは山麓の地は開拓が平野地に比し小規模に行うことが出来るからです。平野は防水工事、用水工事等、相當大規模で多人數の協力が必要ですから、平野は比較的後世の開拓地に屬します。荻、芦谷方面の低地を先づ開墾し高台に居宅を構えるという事は古代に於て最も良い條件であつたと思ひます。



芦谷の里

志賀 又郎

日本武尊御東征の途、芦谷の地に進み給える時、皇軍の旗頭建稻種命潤谷に芦生い茂るを見て芦の谷と呼ぶ。芦谷の地名は之に起因すと。

○
しものつるおきいてすだく聲すなり
さえ行くよはの芦のやの里
むれたけるかきねの木の葉霜かれて
かくれかもなしあしのやの里

昭和二十六年滿年令表 (一)

昭和25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
昭和15	14	13	12	11	10	9	8	7	昭和6
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
昭和5	4	3	2	昭和元	14	13	12	11	大正10
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
大正9	8	7	6	5	4	3	2	大正元	明治44
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
明治43	42	41	40	39	38	37	36	35	明治34
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
明治33	32	31	30	29	28	27	26	25	明治24
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
明治23	22	21	20	19	18	17	16	15	明治14
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
明治13	12	11	10	9	8	7	6	5	明治4
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
明治3	2	明治元	慶應3	2	慶應元	元治元	文久3	2	文久元
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89

火の用心!!

道行く人が、何気なくすてた煙草の吸殻から、消えたと思つて投げた一本のマッチ、これが原因となつて一町一村の殆どを灰にした例は今迄何回となく繰り返されました。

このように、たつた一人の不注意が何千人何萬人の人々に直接間接に

絶對的な損害を與え、時にはそれが爲に社會不安を招來したことさえありました。恐ろしい事、これを予防する途は只一つ、國民の一人一人が火の用心をすることです。安全な生活、平和な社會の建設、それは決してむずかしいことではありません。あなた方が火災を予防することによつて實現するのです。

い。月数ははいはない。但しとなえ方は單に「何才」と令「何年何ヶ月」が求められる。上右表の生月表を加えれば年生れ年により下表の數字を得た



建物共済に全戸加入しましょう

幸田村共済組合

農家の大きな資産である建物を不慮の災害(火災、風、水、雪害その他、不可抗力による災害、地震を除く)から守り、農業経営の安定を図る爲に設けられた共済組合の行う建物共済事業のあることをご存じですか。

此の制度は一昨年一月行はれた臨時總會で大家畜の全額義務制加入と共に任意加入で実施することに決定したのですが、この趣旨が全農家に徹底しないばかりか、共済団体の事業経営の基礎も充分確立していない爲加入者は殆どなく一朝大火災の発生を見る時充分機能を發揮することは想像だに許されない現状である。

此の様な現状を打破し一刻も早く全戸加入をし安心して農業経営できるように愛知縣に於ては建物共済加入の促進運動を去る十二月十五日より一月十五日まで強力にいたしておりラジオ、新聞等でも必要性を宣傳しているのですが、今更申し述べるまでもありませんが、一度前記の災害にあつたら容易に復興できませんから、

火の用心をすると共に「轉ばぬ先の杖」早速建物共済に加入しましょう掛金も保険金額の千分の三・六で、非常に低率で煙草錢位で一年間建物が保証されるのです。その上現金拂ばかりでなく、定期貯金をしてその利子の一部を充當する制度も考へられていますので、何れの方法でもよから消防施設の完備と相對して完全な文化幸田の確立を期しましょう

共済金額並びに共済掛金

階級別	賃賃價格	共済金額	共済掛金
一	十五圓迄	一萬圓	三六圓
二	二五圓迄	二萬圓	七二圓
三	四〇圓迄	三萬圓	一八〇圓
四	六〇圓迄	五萬圓	一八〇圓
五	一〇〇圓迄	八萬圓	二八八圓
六	一五〇圓迄	一〇萬圓	三六〇圓
七	二〇〇圓迄	一五萬圓	五四〇圓
八	二〇〇圓以上	二〇萬圓	七二〇圓

備考 共済金額の基準は家屋賃賃價格の八百倍とし最高額を貳拾萬圓とする



十年延びた我らの壽命

戰爭中は甘藷の蔓や、南瓜の莖で危くつながれて来た壽命、いざ終戦となると、又も恐しい食糧難の危機に直面、今度こそは餓死するのかもしれないものであるが、進駐軍の食糧救援でその危機を脱することができたし、その上終戦後我々の壽命が十年も延びたというのであるから、まるで夢のような話である。衛生施設の重要性が今こそ痛感される。

昭和二十四年の死亡数は九十五萬七百三十人で、二十三年の九十五萬百六人より約八千人も減少し、人口千に對する死亡率は、二十三年が一二・二であるのに二十四年には一一・六に減少し一九四八年(二十三年)の文化國の死亡率と比較し、フランスは一二・二、イギリスは一〇・九で、ほぼこれに近いものになつた。然しまだ多い方の横綱格だ。

ところで最も恩恵を受けたのは、十五才から十九才の年齢層で、昭和十年の死亡率を百とすると、二十四年は男四一%、女三七%で、その死

亡率は半分以下に激減した。全体的に見て女の死亡率の方がぐつと減つて男女同權どころか、人間の社會も蜂同様、女は女王蜂で、男は雄蜂のようになりそうだ。この死亡率の激減で一番ウケに入つたのが生命保険であるが、そこはリコウなもので、今でも昭和十年の死亡統計に基ずく生命表から割出した保険料で奉仕しているそうだ。

左に昭和二十三年世界各國死亡率(人口千人に對して)を表示しよう。

昭和23年世界各國死亡率

國名	死亡率	國名	死亡率
オランダ	7.4%	スベイン	10.9%
デンマーク	8.6	イギリス	10.9
南アフリカ	8.9	フィンランド	11.1
カナダ	9.3	ハンガリー	11.2
ドイツ英地區	9.5	ドイツ佛地區	11.7
スウェーデン	9.8	日本	12.0
オーストラリア	9.9	フランス	12.2
U.S.A.	9.9	メキシコ	16.3
イタリー	10.5	インド	17.1
スイス	10.8		



工場めぐり (その二)

新光レイヨン株式会社幸田工場

謹賀新禧

舊年中は格別の御愛顧を蒙り有難く御厚禮申し上げます
御高承の通り繊維業界は近頃頗る活況を呈しております弊工場におきましても紡機七萬錠、織機五百余臺の設置を完了し従業員一同迎春と俱に一段の飛躍を期待しております 何卒當年も相變らず倍舊の御引立御醫授を賜りたくお願い申し上げます

昭和二十六年元旦

愛知県額田郡幸田村大字菱池字元林一
新光レイヨン株式会社幸田工場
取締役 清水喜三郎
工場長

清水喜三郎

一、額田郡内工場に懸けて勤勞學級を開設十六日に開講式の予定
二、この程新作された工場歌、工場音頭を紹介します。

新光レイヨン工場歌

作詞 勝 承夫
作曲 飯田 信夫
一、光はつねに新らしく
みどりは薫る理想境
あゝ 青春の色染めて
紡織文化 花ひらく
幸田 幸田 われらの光
たゆまぬ糸のながれにも
リズムは躍り 氣ははずむ

幸田工場音頭

作詞 佐伯 孝夫
作曲 中山 晋平
振付 島田 豊
一、アノネコリヤホーサデ

アノネコリヤホー
汽車で通れば ネオンが招く
幸田ざくらのチャント
幸田ざくらの 色そえて ソレ
ハーサヨツコランヨノ
チャントチャントナ

- 二、わたしや織姫 慕持なれど 戀のだんどり まだ知らぬ
- 三、紡錘はくるくる 綺麗な糸に のつて乙女の 夢がくる
- 四、艶のよい総 織物積んで 汽船は七つの 海越える
- 五、ラジオ聴こうか手紙を書こうか 月にたゝすむ 寮の窓
- 六、故郷も雪かや スフ綿雲よ つもれお背戸の 麥畑
- 七、幸田よいとこ 紡いで織つて 日本文化の 華咲かす

編曲 小澤直典志
ビクター吹込 市 宇都美 清丸

小唄工場の四季

- 一、幸田通れば ネオンが招く
花の純情、色そてえ
- 二、夕涼しい 廣田の流
泣かでこがれる 戀ぼたる
- 三、遠望峰山脈 錦を飾りや
月がさし込む 寮の窓
- 四、伊吹風が 荒れよとまよ
希望あかるい スフの雪



經濟茶話

(生活改善)

本當の料理上手とは

卵何個、砂糖何瓦、肉はいくら、バターはどうのと選ばれた材料でおいしい料理を作るのなら誰でもできる。こうして作れば栄養も豊かで、ビタミンも多く含まれカロリーも何千ある等と頭やふところの痛くなるような証明付の料理法よりも、本當に家庭に必要なのはふところ痛まずしかもおいしい料理法である。良い材料でお金をかけて作った料理の結構なのは萬々承知、然し國民の中の何%しかできないのである。學校でもよい材料で作る料理法が一通りすんだら、手近にあるあり合せの材料によつてできる實用的料理法を教ふるようにしたらどれ程各家庭が助かり本人の將來の爲にもなるかわからない。

教える先生すら年何回しか食べられないような料理法を日常料理法として教えるこんでいる。

花嫁になつてからこの料理法によつて果してどれ程役に立つだろうか毎日この手でやられたら、安月給取りの夫君はすぐに悲鳴をあげてしまふ。

(滋野露子)

短歌

「朝空」及雑詠

永井一蝶

朝起きてふと見し空に遠く低く初宮
士の姿輝きわたる
晴れ渡る朝のみ空に高々と御旗か
げむ今日のよき日を

○ 山本秋子
故郷の空に向いて初春の祝詞のべな
む父母を思い
ながかりし病もいえてあら玉の年迎
ふるを喜びにけり

○ 平松千代乃
農協の床に活けたる紅梅の花咲き居
りて年新たなり

○ 山崎吉彦
あら玉の年立つ朝の空晴れて氏神詣
に道を行く人

○ 平松千秀
見なれたる故郷にしあれ初霜の今朝
の空をばしはし仰げる

○ 内藤待月
朝空に雲の行き来のはやければ親干
しにつゝこゝろまどひぬ

○ 神谷よしえ
南天の白き實ゆえに愛でぬしをまま
ごとせり兒等の取り来て

○ 山本四秋
朝空に月を残せし荒磯の松風の音な
おもつづける

○ 山本四秋
夜の雲の晴れしあしたの空のもと古
木の梅のほひほのかに

○ 山本四秋
晴の雲金色の東より鳩渡りぬこの峡
空を

俳句雑詠

ねむられぬ夜々とぞ人にかこちつゝ
更けしづむ灯をたのしむ吾か
その人の子等がまつわりなつくほど
よしなき人を訪れしかな
○ 兒玉幸百
新らしき年を迎える同胞の三十余萬
は何處の空ぞ
何事の苦勞もせず凡々と親のもと
にて三十歳の春

性こりもなく鶏は糞散らし
○ 兒玉幸百
衰へし焚火吹きいてむせにけり
上杉翠溪

垣踏う後を誰か通りけり
○ 貝吹句路
今日の陽はあんじなしとて親を干す
草次一政

色あせし茶の花にあり夕日かな
○ 稲吉清
静けさに耐えかねて鳴く今朝のもす
皇居 平松荻雨

きしみ開く坂下門や霧深し
○ 平松荻雨
澄深く鴨の羽ばたき千代田城
散る銀杏衛士も仰ぎ見ていたり

鴨遊ぶ道瀬堀や萩枯るゝ
○ 平松千秀
初臘や口笛高く犬を呼ぶ
迎 春 平松荻雨

感動もなく拍手や初詣で
○ 永井一蝶
朝空に旗へんぼんと里の春
兒玉幸百

バラックに相應し今日の注連飾り



(子供の科學)

まつろう

元日の日の出を初日の出といいま
すが、昔はみんな海べへ行つたり高
い所に登つたりして、拜みました。
これは、太陽は世の中を明るく暖く
して下さる神様だと思ひ、今年も無
事に照らしてもらえようととお祈
りしたのです。
しかし太陽は、だゞ世の中を明る
くしたり暖かくしたりするだけでは
ありません。太陽の光は植物が育つ
のになくてはならぬものです。
つまり太陽がなければ、私どもは
食へるものがありませんから生きて
いることができません。
太陽はまた電氣の力のもとです。
電氣は主に川で起しますが、水が流
れるのは雨がふるからで、雨がふる
のは太陽が、その熱で水を蒸發させ
るからです。だから電灯がつくのも
工場のモーターが廻るのも太陽のお
かけです。石炭もガソリンも大昔の
太陽のおかげでできたのだから汽車
も自動車も結局太陽が走らせている
のです。
これで、人間一切の活動は太陽の
光と熱がもとになつてゐることがお
わかりになつたでしょう。



大府から

中根健造

なつかしい幸田の里を離れて見て
幸田のよさをしみじみ感じさせられ
ます。近頃此處に来て保養者と共に
毎週一回位散歩に出かけます。つれ
づれのまゝに久しぶりに句作を始め
ました。近作數首御送りいたします
から廣報へ選の上御出し下されば有
難いと思ひます。

○ 郊外の枯野を散歩して
百舌一羽鳴かず巡りて幹高し
静けさや一葉落してたつかわせみ
赤錆し鐵路傾く枯野かな
稻架盡きて近くに見える大根畑
脱穀の音をとかして照る冬日
暖かき冬日照らして沼香う
二三尾の目高に廣き冬田かな
○ 緒川の禪院を訪れて
高殿に座りてあればほの笛
僧堂に枯枯居る寒さかな
供養する典座の僧のちやんちやんこ
浮ぶ葉の底に影ある冬の水
傾きて冬田に一つ案山子かな
— 知多郡大府教員保養所長 —